

市長発言要旨

令和7年度米沢市当初予算（案）について

私から、新年度に向け編成した予算案の概要について御説明いたします。

私が市民の皆さんと一緒に目指す「好循環の米沢」の実現に向け編成した、令和7年度の一般会計予算総額は、対前年度当初予算比で66億1千万円増、率にして15・0%増の506億4千万円であり、初めて500億円の大台を超え、過去最高の予算規模となりました。

令和7年度予算は「好循環の米沢 ステップアップ予算」と名付けました。就任2年目、厳しい財政状況ではありますが、知恵を絞り、好循環の三つの軸である 子育て・教育の米沢、所得の増える米沢、暮らしやすい米沢を前に進める施策を実行します。

新年度における重点的な取組について御説明いたします。

一つ目は、子育て・教育の米沢の実現を目指し、来年4月の開校に向けて南成中学校の施設整備を進め、より良い教育環境の創出と教育の質の充実を図ります。予算額は、南成中学校施設整備事業として、45億2千350万円を計上しております。同時に開校する北成中学校、そして、再来年開校する広幡・六郷・塩井の各小学校を統合した小学校の施設整備や開校準備についても着実に実施することで、小中学校の再編統合を推進いたします。

また、来年4月に供用を開始する学校給食共同調理場の整備を進めるため、学校給食共同調理場整備事業として、14億8千500万円を計上するとともに、今年度から実施しております小中学校給食費の完全無償化に要する経費についても、所要の額を計上しております。

二つ目は、稼ぐ力があり市民の所得が増える米沢の実現を目指し、若者の定着につながる企業を誘致するため、新産業団地の開発予定地を米沢北インターチェンジ周辺に決定したことを踏まえ、基本計画を策定し、整備内容の具体的な検討に入ります。予算額は、新産業団地整備基本計画策定業務委託料として、1千441万円を計上しております。

三つ目は、誰もが暮らしやすい米沢の実現を目指し、4月から乗合タクシーの運行エリアに窪田・塩井地区の全域と愛宕の上長井地区を加えるほか、万世地区においても公共交通のあり方の検討を進めるとともに、夏ごろまでに市街地における「まちなか定額タクシー」の運行を開始いたします。これらの取組により、市内の大部分の地域で、市民の通院や買い物を支える公共交通が整備されます。予算額は、乗合タクシー運行事業として、7千490万円を計上しております。公約として掲げました市内全域でのデマンドタクシー、新たな公共交通網の整備につきましては来年度ほぼ実現の目途が立ったと考えております。また、地域医療を維持するため、診療所開設支援補助金の対象に、これまでの小児科のほか、耳鼻咽喉科、泌尿器科を追加し、開業医の誘致を強化してまいります。

ただいま御説明いたしました重点的な取組のほか、特別会計は、9会計の合計で約183億7千400万円、企業会計は、3会計の合計で約182億9千600万円を計上しており、この後、総務部長等が概要を御説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

【発表事項】

①新産業団地整備候補地について

先ほども、予算の説明で申し上げましたが、新産業団地の建設計画について、改めて申し上げます。本市は新たな産業団地の検討を進めてまいりました。このほど、最終選考に残った、東北中央道・利根沢北インターチェンジ周辺、八幡原インターチェンジ周辺の二地区のうち、米沢北インター周辺の建設予定地を決めました。

造成面積は約20ヘクタールを予定しており、事業費は45億から50億円を想定しております。来年度予算に基本設計の費用約1千441万円を盛り込み、造成完了は6年後としております。

本市は、「ものづくり」の市であり、市内はもとより、市外からも電子機器、素材など沢山の優良企業が進出し事業を展開していただいております。特に八幡原中核工業団地は故・田中角栄首相が提唱した「列島改造論」の柱・工業再配置法を適用した第一号であり、山形県を代表する工業団地として発展してまいりました。

しかし、八幡原工業団地は、ほぼ完売、オフィスアルカディアも8割超販売が終わっており、ここ数年、企業の方々から米沢市の用地不足を指摘されてきました。県内トップを続けてきた製造品出荷額も2022年は約5千184億円となり、約5千836億円の鶴岡市に抜かれ、首位の座を明け渡しております。このため、私は公約に新産業団地の建設を掲げ、就任以降、事務方に検討作業を加速するよう指示しておりました。

米沢北インターチェンジ周辺を選定した理由は、第一にアクセスの良さがあります。無料区間の高速道路に加え、国道13号線・287号線が交わる交通の要所です。周辺市町からの通勤も含め、人材確保に有利な点があります。第二に地元地域の熱意があります。市長を囲む座談会などでも度々、窪田地区の代表の方々から強い要望を受けてきました。早期の完成のためには地元の協力が必須でありますので、そういった協力を期待できる点です。また、米沢市の均衡ある発展にも、同地区が最適と判断しました。

今後は、山形県や経済産業省など国・県とも連携し、企業にとって魅力のある産業団地の造成計画を進めてまいります。雇用規模としては500人から800人を想定しております。労働集約型というよりは、高い付加価値のある製品の製造拠点、無人工場など高度な製造ライン・システムを持つ事業所を県内外・国内外から誘致し、質の高い職場、市民所得の向上につなげてまいります。

新産業団地を米沢の新しい成長エンジンとしてまいります。

②豪雪対策本部の設置について

本日、私を本部長とする米沢市豪雪対策本部を設置することを決めました。第一回の本部会議を本日15時から市庁舎庁議室で開きます。

これまでは、市民環境部長をトップとする関係課長による豪雪対策連絡会議を開催し、情報の共有、対策を検討してきました。積雪量は、2月6日11時時点で120cmとなっています。一昨日以来の大雪で、今後も大雪が予想され、今週末は上杉雪灯籠まつりも予定されており、多くの人出が予想されます。市民生活に支障がないように、また、雪による被害を防止するためにも豪雪対策本部を設置し、対策を打ち出す必要があると判断したところです。

なお、2月8日までは断続的に降雪の予報が出ておりますので、日常生活には十分御注意いただきます。

いと思います。また、上杉雪灯籠まつりでは、万全な除雪体制を整えてまいりますので、交通状況等に留意いただきながら是非お越しいただきたいと思います。